

施設ピーマン／新規参入、規模拡大、栽培技術の確立・向上
国営事業地区に参入し施設ピーマンを拡大、大規模経営体に成長
～宮崎県新富町 JR九州ファーム新富農場～

経営体の概要

事業実施前：－
基幹作物：－
経営面積：－

現在：令和6年
基幹作物：施設ピーマン
経営面積：3.6ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

●水源の不足により水田は常習的に干ばつ被害。

畑地ではかんがい施設が無く、土地生産性が低い状態。

【現在】

●国営一ツ瀬川農業水利事業（昭和47～60年度）等により水源が確保されるとともに、用水施設が整備され、農業用水が安定的に供給。

●本事業により、老朽化が進行している施設の改修等を行うことで、農業用水の安定供給を維持。



杉安頭首工（一ツ瀬川）



東原調整池

営農改善、経営転換等のポイント

①新規参入

国営事業等によるかんがい施設が整備された農地を確保できるとともに、新富町は日本有数のピーマン産地であり、JAのブランド力と販売力を活用できること、ピーマン栽培農家から指導が得られること、地域で雇用労働力が確保できることなどから、平成25年に本地区で新規参入。

②経営規模の拡大

参入当初は、低コスト耐候性ハウスを6棟(173a)設置し、令和元年に14棟(363a)に規模拡大。年間約500tを生産し、令和5年度は約7割をJAみやざき児湯地区本部に、約3割をJR九州直営店に出荷。栽培面積及び出荷量はJAみやざき児湯地区本部におけるシェアの約1割を占め、地域の大規模経営体に成長。

③栽培技術の確立・向上

全てのハウスで環境制御システムを導入し、日射に応じた灌水（日射比例かん水）を実施している。

畑かん用水を活用して7月に陽熱土壌消毒を行い、農薬に頼らない土づくりを実現。また、県の指導の下でICMに取り組み、天敵を導入し、防除作業に係る人員を削減するとともに、GLOBAL G.A.P認証の取得を行うことで安全・安心なピーマンの生産に努めている。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：宮崎県西都市他1市2町
受益面積：2,067ha
予定工期：令和5年～令和14年度
事業目的：用水改良（改修）
主要工事：貯水池（改修）1カ所
頭首工（改修）1カ所
用水路（改修）L=5.8km他

位置図



<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化推進係 等
電話：096-300-6498

（令和6年度調査時点）